

平成30年12月28日

各位

筑後信用金庫

地元中小企業と久留米工業大学生をつなぐインターンシップ支援事業
「社長のかばん持ち体験～社長についてまわる2日間～」
『報告会・懇親会』を開催しました！

筑後信用金庫（理事長 江口 和規）と久留米工業大学（学長 今泉 勝己）は、平成30年12月13日、ホテルニュープラザKURUMEにて、「社長のかばん持ち体験～社長についてまわる2日間～」の『報告会・懇親会』を開催しました。第一部「報告会」では、インターンシップを受入れていただいた中小企業6社の経営者とうきは市長高木様だけでなく、行政や商工会議所、信金中央金庫、報道各社様等の見守る中、久留米工業大学生7名が、2日間のかばん持ち体験を報告しました。

冒頭、当金庫の江口理事長は「人（労働力）不足に嘆く中小企業と学生との橋渡しをこれからも進めたい」、大学生7名による報告後に久留米工業大学の今泉学長は「今後も地域で活躍できる人材を育成していきたい」と述べられ、第一部「報告会」は終了しました。引き続き、大学生に様々な社会人との出会いを提供する目的で開催した第二部「懇親会」では、久留米工業大学の高橋副学長の挨拶ではじまり、当金庫の末次常務理事が「今後も継続して取り組んでいきたい」と申し上げました。



（筑後信用金庫 江口理事長）



（久留米工業大学 今泉学長）



（久留米工業大学 高橋副学長）



（筑後信用金庫 末次常務理事）



(報告を行う久留米工業大学生)



(報告を行う 久留米工業大学生)



(うきは市 高木市長 様)



(シグマコンポーネント株式会社 郡社長 様)

第一部「報告会」では、社長のかばん持ち体験に参加してくれた久留米工業大学生7名によるプレゼンテーションを行いました。約70名の出席者の前でのプレゼンテーションであり、大学生も緊張した面持ちでしたが、それぞれが個性を活かしながら、この体験で学んだことや感想等を報告してくれました。

例えば、「社長と社員の距離が近く、会社が一つになっていると感じた」、「社長は椅子に座っているだけで楽そうなイメージであったが、会社全体の責任を負い、仕事は多岐にわたるごくハードだった」、「大事なのはコミュニケーション」「地元で独立したい」「地方でもIoT等の最新技術は可能」、また「最先端ではなく最適なものづくりをしていきたい」等の報告をしてくれました。

また、受入企業を代表してうきは市の高木市長様とシグマコンポーネント株式会社の郡社長様からは、「これからどんな人生を送り、どんな仕事をしていくのかを明確にして、今後の学生生活を充実したものにしてほしい」等と感想や学生への助言を言っていただきました。

当金庫としても、中小企業の最大の魅力である「社長」にふれることで、地元企業の魅力だけでなく、地域や中小企業の魅力に少しでも気づいてもらえたのではないかと考えており、来年度以降も、人手不足に悩む中小企業と学生の橋渡しをしていきたいと考えております。



【 参加学生と受入企業の皆様 】

1. 工学部 建築・設備工学科 3年生 菊池 慎一郎 様
シグマコンポーネント株式会社 代表取締役 郡 隆文 様
2. 工学部 交通機械工学科 3年生 筏 太成 様
三和浄水株式会社 取締役 原田 智香 様
3. 工学部 情報ネットワーク工学科 3年生 富重 吉平 様
株式会社アイナックシステム 代表取締役 稲員 重典 様
4. 工学部 交通機械工学科 3年生 田川 智大 様
うきは市役所 市長 高木 典雄 様
5. 工学部 交通機械工学科 3年生 馬田 尚弥 様
株式会社古賀製茶本舗 代表取締役 古賀 善信 様
6. 工学部 教育創造工学科 1年生 坂本 高文 様
株式会社オガタストーン 代表取締役 緒方 康幸 様
7. 工学部 機械システム工学科 2年生 木下 慧 様
有限会社エヌ・イー・ビー 代表取締役 鍋島 正彦 様

皆様、ご協力ありがとうございました。